

コンサルタント等契約(業務実施)(2023年3月22日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。新型コロナウイルス感染拡大の影響による渡航制限措置等により、履行期間や現地業務期間に変更が生じる場合があります。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

★	調達管理番号	22a01048000000	調達件名	フィリピン国統合水資源管理アドバイザー業務		
公示日(予定)	2023年3月29日	担当部課	地球環境部水資源グループ	業務種別	業務実施契約ー【事業実施・支援業務】技術協力個別案件	
履行期間(予定)	2023年5月30日 ~ 2025年7月22日		選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】 フィリピンは、1990年代より水不足の問題が指摘されてきたが、人口増加や経済発展により水需要は年々増大する中、実施体制や財源不足等の課題により水不足が問題となっている状況である。2019年には、エルニーニョ現象の影響による少雨によって水不足が深刻化し、大きな社会問題となった。マニラ首都圏でも断水が行われ、フィリピン全81州のうち41州において干ばつ被害が広がり、農業や養殖漁業が影響を受けた。 このような背景を踏まえ、次期フィリピン国家開発計画の水資源分野の文書・法令等への政策的助言、統合水資源管理マスタープラン策定・実施に対する支援を、技術面と機能的な体制を形成するための支援の両面から行う事により、当該分野の職員の能力向上を図り、もってフィリピンの持続的かつ包括的な統合水資源開発・管理に資することを旨とし本業務を実施する。</p> <p>【目的】 フィリピン開発計画(水資源分野部分)の策定、効果的な統合水資源管理の実施のための政策文書、研究、データ管理方法論の準備、およびマスタープランの策定に関する国家経済開発庁(NEDA)と国家水資源委員会(NWRB)の能力が強化される。</p> <p>【業務内容】 1、フィリピン開発計画(水資源分野部分)の策定と更新に関する助言(主導機関:NEDA) 2、水資源管理に中心的役割を担う新たな機関やNWMC(National Water Management Council)の設立、効果的な統合水資源管理の実践に向けた計画、政策立案等のための水資源セクターに関連する政策文書、研究、データ管理方法論の準備について助言する(主導機関:NEDA) 3、統合水資源管理のためのマスタープランの策定と実施に関する助言(主導機関:NWRB)</p>			留 意 事 項	<p>【担当分野/評価対象者】 (1)業務主任者/組織・制度(評価対象) (2)水資源計画・管理(評価対象) 又は (1)業務主任者/水資源計画・管理(評価対象) (2)組織・制度(評価対象) ※いずれの業務従事者も業務主任となることが可能</p> <p>【人月合計】 約15.48人月(現地約14.3人月、国内約1.18人月)</p> <p>【その他】 ・本業務は、本契約とは別の短期専門家(統合水資源管理政策)1名と協働して活動する想定。 ・本業務に係る契約には、事業実施・支援業務用契約約款を適用し、契約で規定される業務が国外で提供される契約、すなわち国外取引として整理し、消費税不課税取引とすることを想定(企画競争説明書に最終的な取扱いを記載)。 ・プレ公示の内容は若干変更になる可能性があります。</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(2023年3月22日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。新型コロナウイルス感染拡大の影響による渡航制限措置等により、履行期間や現地業務期間に変更が生じる場合があります。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

★	調達管理番号	22a00998000000	調達件名	パレスチナガザ地区水産業振興に係る情報収集・確認調査（一般競争入札（総合評価落札方式一ランブサム型））		
公示日（予定）	2023年3月29日	担当部課	中東・欧州部中東第二課	業務種別	業務実施契約－【調査業務】基礎情報収集・確認調査	
履行期間（予定）	2023年6月1日	～	2024年2月29日	選定方法	一般競争入札（総合評価落札方式）	
業 務 内 容	<p>【背景】 パレスチナのガザ地区は地中海に面した立地から水産業が盛んで、間接的に水産業に関連する人々も含め約11万人が同分野に依拠しており、人口約211万人の同地区において水産業の重要性は高い。一方、ガザ地区はイスラエルの厳しい封鎖の下にあり、漁獲水域の制限、船や漁具の修理部材の輸入制限など、様々な制約の結果、漁民の生計レベルは低くなっている。また、漁業水域が制限され狭い水域に漁獲努力が集中するため、乱獲のリスクも高い他、厳しい経済状況の下で港や流通施設の老朽化が進み、自然環境や労働環境に悪影響を及ぼしていることから、漁業の持続性の確保も課題となっている。</p> <p>【目的】 本調査は、ガザ漁業の持続性の向上と零細漁民の経済的強靱性の向上を目的として、JICAの今後の協力の方向性の検討を行うものである。</p> <p>【活動内容】 (1) 水産行政の概要の調査 (2) 水産資源管理に関する調査 (3) 水産インフラの事業化可能性に関する調査 (4) 養殖セクター開発に関する調査 (5) 漁業操業コストの低減に関する調査 (6) 水産生計活動の多様化に関する調査 (7) 他国及び国際援助機関による水産分野における協力実績・内容の収集</p>			留 意 事 項	<p>【業務担当分野／評価対象者】 1. 業務主任者／零細漁業開発（漁業改善、インフラ整備分野担当）（評価対象） 2. 水産バリューチェーン（養殖・生計改善分野担当）（評価対象）</p> <p>【人月合計】 3.66人月（現地調査2.66月、国内作業1.00月）</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(2023年3月22日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。新型コロナウイルス感染拡大の影響による渡航制限措置等により、履行期間や現地業務期間に変更が生じる場合があります。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

★	調達管理番号	22a00978000000	調達件名	ウガンダ国綿花生産を通じた難民・ホストコミュニティの生計向上に係る情報収集・確認調査(QCBS)		
公示日(予定)	2023年3月29日	担当部課	アフリカ部アフリカ第二課	業務種別	業務実施契約ー【調査業務】基礎情報収集・確認調査	
履行期間(予定)	2023年6月13日	～	2024年2月29日	選定方法	企画競争	
業 務 内 容	<p>【背景】 ウガンダは、紛争や難民の流入等に起因して貧困・脆弱な層が多く、また南北の経済格差が長年の課題である。しかしウガンダは伝統的に難民に寛容な政策的スタンスを持ち、積極的に受け入れてきた経緯があり、2016年以降は南スーダン等から多くの難民が流入し、2023年1月末時点で150万人を超えている。一方で、難民を受け入れるホストコミュニティ(以下、「HC」という)の受ける負荷は大きく、難民支援に当たっては、難民とHCの両方に裨益する形での支援が必要となる。北部地域は国内における綿花の主な生産地の1つであり、汚染の無い土壌を生かしたオーガニックコットンの栽培割合が高い。世界第8位の綿花生産国であるウガンダの綿花産業には、難民も綿花農家として参加しており、難民も巻き込み裨益する産業という観点でも特徴的である。</p> <p>【目的】 本調査は、ウガンダの難民居住区・HCにおいて、綿花栽培を通じた持続的な雇用及び生計向上を可能とするために必要な施策等を洗い出し、今後のJICAの協力方針を検討するために必要な情報の収集・確認を行うものである。また、難民居住区・HCにて栽培される綿花の付加価値を向上するための取組・施策等を検討する。</p> <p>【業務内容】 ウガンダの難民居住区及び周辺HCの綿花農家の生計に係る以下の情報を収集し、綿花栽培を通じた難民居住区・HC地域の持続的な雇用及び生計向上の施策を提案する。 ・難民及びHCで綿花栽培に関わる農家、関連企業、行政その他支援機関等のプロフィール ・調査対象サイトにおける綿花バリューチェーン、綿花加工企業との取引形態、オーガニック綿花買い付け企業の現状、他ドナーの支援状況(UNHCRの実施するブロックファーマリングを含む)にかかる実態調査 ・地域ブランディング等の手法を活用した、難民及びHCが栽培する綿花についての付加価値を向上させるための取組・施策等の検討・提案</p>			留 意 事 項	<p>【業務担当分野、評価対象者】 業務主任者/バリューチェーン分析(評価対象者) 農業(綿花栽培)(評価対象者) 生計向上 ビジネスマーケティング</p> <p>【人月合計】 合計約11人月(国内5.0人月、現地6.0人月)</p> <p>【その他留意事項】 プレ公示の内容は若干の変更の可能性あり。</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(2023年3月22日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。新型コロナウイルス感染拡大の影響による渡航制限措置等により、履行期間や現地業務期間に変更が生じる場合があります。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

★	調達管理番号	22a00952000000	調達件名	カメルーン国包括的BDS提供システムの展開を通じた企業競争力強化プロジェクト		
公示日(予定)	2023年3月29日	担当部課	経済開発部民間セクター開発グループ	業務種別	業務実施契約ー【事業実施・支援業務】技術協力プロジェクト	
履行期間(予定)	2023年6月15日	～	2027年6月14日	選定方法	企画競争	
業 務 内 容	<p>【背景】 カメルーンは、2030年に向けて平均8.1%の経済成長率を目標に掲げている。経済成長の主要な担い手である民間企業のうち99.8%は中小企業であるが、資金調達等の従来の課題に加え、新型コロナウイルス感染症による市場の縮小、ウクライナ情勢による原材料価格の高騰、国際物流の停滞等の影響で経営が弱体化している。このため、中小企業の経営改善と競争力強化が喫緊の課題となっている。これまで、JICAは、カメルーン国内の都市部を中心に、カイゼン／ビジネス開発サービス(Business Development Service、BDS)を通じた品質・生産性向上と経営管理を中小企業に指導できる官民のコンサルタント116名の育成を支援してきた。今後、地方部への支援を展開・普及を図るべく、基盤となる組織体制の更なる強化や人材育成の強化が求められている。あわせて、他国においても同様にカイゼン／BDSの重要性を伝えていくことも有益と考えられる。</p> <p>【目的】 本案件は、カメルーン全国において、カイゼン／BDSを提供する官民人材の継続的育成のための仕組みの構築、カイゼン／BDS提供の促進強化、近隣諸国へのカイゼン／BDSの重要性の共有等を行うことにより、質の高いカイゼン／BDS提供の強化を目指すもの。</p> <p>【活動内容】 ・BDSコンサルタント認定制度の構築 ・カイゼン／BDS推進人材の育成 ・地方州を含めたカメルーン全国へのカイゼン／BDSの啓発活動 ・近隣諸国での研修実施等を通じたカイゼン／BDSの重要性の共有</p>			留 意 事 項	<p>【業務担当分野一覧／そのうちの評価対象者】 (1) 業務主任者／BDS提供制度構築(大都市部)(1号を想定、評価対象予定) (2) BDS提供制度構築(地方部)(評価対象予定) (3) 品質・生産性向上(評価対象予定) (4) 経営管理 (5) 評価・モニタリング (6) 広報・組織間連携強化 (7) 研修計画</p> <p>【人月合計】 約119人月(現地：102人月、国内：17人月)</p> <p>【その他留意事項】 RD署名：2月17日締結済</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(2023年3月22日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。新型コロナウイルス感染拡大の影響による渡航制限措置等により、履行期間や現地業務期間に変更が生じる場合があります。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

★	調達管理番号	22a01007000000	調達件名	バングラデシュ国気候変動対策に資する森林・自然資源分野の情報収集・確認調査(一般競争入札(総合評価落札方式一ランブサム型))		
公示日(予定)	2023年3月29日	担当部課	地球環境部森林・自然環境グループ	業務種別	業務実施契約ー【調査業務】基礎情報収集・確認調査	
履行期間(予定)	2023年5月30日 ~ 2023年11月30日	選定方法	一般競争入札(総合評価落札方式)			
業 務 内 容	<p>【背景・目的】近年、世界各地で気候変動の影響、被害が生じており、国際的に様々な緩和策、適応策が講じられている。また、気候変動に起因した被害から国土や生活環境を守るため、グリーンインフラが昨今注目されており、中でも森林はその面的な広がり及び機能的な観点から重要な役割を果たしている。</p> <p>南アジア地域は気候変動による影響が今後も大きくなると見込まれる。中でも、バングラデシュ国は、国土の性質上、気候変動による影響を受けやすく、気候変動への適応は最重要政策の一つであることから、森林セクターにおいては緩和策だけでなく、適応策にも取り組む方針を打ち出している。また、森林は地域住民の生計や洪水等の災害にも関わることから、分野横断的な対策が求められている。</p> <p>これまで同国の森林セクターにおけるJICAの支援実績は無いが、同国では昨年策定された国家気候変動適応計画における重要セクターの一つとして掲げられたことから、2023年2月に同分野における協力可能性の検討のための先行調査を行い、気候変動政策における森林分野の位置づけ、主要森林景観(丘陵地、マングローブ、サル、湿地帯)及び組織・能力面での現状及び課題を確認した。</p> <p>本調査は、同国の気候変動対策としての森林・自然資源管理のあり方を提示すると同時にJICAの技術・有償資金協力を検討に必要な情報の整理や提言を行う。</p>			留 意 事 項	<p>【業務概要】(1) インセプションレポートの提出 (2) 国内準備(1: 関連政策文書のレビュー、2: ステークホルダー分析、3: 課題抽出、4: 今後の方向性に係る情報整理、5: 現地調査項目の抽出、6: ワークプランの提出) (3) 現地業務(1: 現地調査、2: 課題・協力ニーズの抽出、3: 課題・協力ニーズの整理・分析、4: 結果報告) (4) 帰国後整理・最終報告書の提出</p> <p>【担当分野/評価対象者】 1: 業務主任者/森林分野気候変動対策/持続的森林管理(評価対象予定)、2: Nature based DRR/持続可能な土地利用(評価対象予定)、3: マングローブ/湿地保全、4: 森林資源情報</p> <p>【業務人月(想定)】約6.0人月(国内1.8人月、現地4.2人月)</p> <p>【留意事項】(1) 適用される契約約款: 本件契約には、調査業務用の契約約款を適用。(2) 安全管理に係る業務上の制約等: バングラデシュでは、JICAが指定する宿泊施設以外への宿泊は認めない。宿泊料は、特号: 15, 500円/泊、1~6号: 13, 500円/泊の定額見積り。(3) その他: バングラデシュ国チッタゴン丘陵地域を訪問する外国人は、入域許可証を取得する必要がある、申請に1ヵ月~2ヶ月を要するため、当該地域を調査対象とする場合は事前に現地傭人等を活用した代理申請を推奨。</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(2023年3月22日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。新型コロナウイルス感染拡大の影響による渡航制限措置等により、履行期間や現地業務期間に変更が生じる場合があります。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

★	調達管理番号	22a00990000000	調達件名	ベトナム国港湾技術基準策定・普及支援プロジェクト		
公示日(予定)	2023年4月5日	担当部課	社会基盤部運輸交通グループ	業務種別	業務実施契約ー【事業実施・支援業務】技術協力プロジェクト	
履行期間(予定)	2023年6月13日 ~ 2027年6月30日		選定方法	企画競争		
業務内容	<p>背景：対ベトナム社会主義共和国 国別開発協力方針（2017年12月）ではベトナムにおける旺盛なインフラ需要への対応の必要性が指摘されており、ベトナム社会主義共和国JICA国別分析ペーパー（以下、JCAP）（2020年6月）は、特に港湾について同国の急速な経済成長及び国内市場の拡大に伴い増大した貨物需要に見合う整備が不可欠であり、加えて国際的な物流拠点として深水港を整備する必要性が大きい、としている。他方、ベトナム政府も2030年を見据えた、海運を含む海洋経済産業の強化に係る発展戦略を掲げている。</p> <p>これらの背景により、同国では2030年に向けて港湾開発・整備が引き続き活発に進められることが想定される。今般、JICAは、ベトナム政府からの港湾技術基準と関連ガイドラインの策定及び普及による、同国の港湾開発適切化を目的とした事業の実施要請に基づき、本技プロを行うこととした。</p> <p>目的：本プロジェクトでは、ベトナムにおいて、港湾技術基準及び関連マニュアルの策定・普及を行うことにより、ベトナムの国家港湾技術基準の策定と運用に係る能力及び、港湾施設の開発および維持管理の技術能力が向上し、もって同国の港湾が国家港湾技術基準に基づき効率的かつ強靱に開発され、同国の国際港湾セクターにおける競争力の向上に寄与する。</p> <p>活動内容：右記担当分野を網羅した団員派遣を想定。各団員は担当分野の観点からカウンターパート機関に対し、港湾技術基準策定・普及に係る助言、能力向上のための支援を実施する。</p>			留意事項	<p>業務担当分野一覧・そのうちの評価対象者：業務主任者／港湾技術基準管理（評価対象者）、港湾技術基準策定、港湾施設設計、港湾施設材料・維持管理、港湾建設、港湾施設運用、研修</p> <p>人月合計：合計約82.8人月、内現地67.0人月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレ公示の内容は若干の変更の可能性があります。 ・R/Dは3月14日までに署名予定です。 ・本調査は、契約予定時期の後ろ倒しや調査内容の変更、場合によっては公示取り消しの可能性があります。 	

コンサルタント等契約(業務実施)(2023年3月22日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。新型コロナウイルス感染拡大の影響による渡航制限措置等により、履行期間や現地業務期間に変更が生じる場合があります。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

★	調達管理番号	23a00044000000	調達件名	ベトナム国国立がん病院機材整備計画準備調査(一般競争入札(総合評価落札方式)ランプサム型)		
公示日(予定)	2023年4月5日	担当部課	人間開発部保健第二グループ	業務種別	業務実施契約ー【調査業務】協力準備調査(無償資金協力)	
履行期間(予定)	2023年5月30日 ~ 2023年12月28日		選定方法	一般競争入札(総合評価落札方式)		
業 務 内 容	<p>【背景】ベトナム社会主義共和国では、近年死因上位を占める疾病は非感染症へと変化している。非感染性疾患による死亡のうち、がんに関連する割合は2016年時点で4割となっており、新規がん罹患件数(約18万件、2020年時点)は年々増加傾向にある。ベトナム最大のがん専門病院の国立がん病院は、北・中部地域の下位病院及びハノイ市内の患者を受け入れ、当該国のがんの診断・治療で中心的役割を果たしている。同病院は医療機材不足や施設老朽化により今後も増加が予想される患者ニーズに十分対応できていないため第一施設を建替え中であり、2023年中の稼働開始に向け、新施設に必要な機材整備が喫緊の課題となっている。</p> <p>【目的】本調査は、同病院及び北部・中部地域に対する医療サービスの質向上に資する医療機材整備に関し、本事業実施(施設・機材等調達方式無償資金協力)の必要性と妥当性、当該病院の機材管理に係る実施体制・財務的能力を確認の上、協力の成果を得るために必要かつ最適な事業内容・規模につき概略設計を行い、概略事業費を積算するとともに、相手国側負担事項の内容、実施計画、機材の運営・維持管理の計画及び留意事項、事業効果の測定指標等を提案することを目的とする。</p> <p>【活動内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 本事業の背景、経緯、必要性及び妥当性の確認 (2) 本事業を取り巻く状況、実施体制及び財政的能力の整理 (3) サイト(自然、水質、電力、機材搬入経路、施工等)の状況整理 (4) 要請機材の確認と市場・調達事情の整理 (5) 本事業の概略設計 (6) ソフトコンポーネントの必要性の有無の確認と内容整理 (7) 相手国側負担事項の整理 (8) 税金情報の収集・整理 (9) 本事業の維持管理計画の策定 (10) 概略事業費の積算 (11) 本事業の評価指標の設定 (12) ジェンダー課題に関する整理 (13) 本事業の実施監理にあたる留意事項の整理 (14) 想定される事業リスクの整理 			留 意 事 項	<p>【業務担当分野一覧/そのうちの評価対象者】</p> <p>業務主任者/機材管理(評価対象予定)</p> <p>機材計画2/積算</p> <p>保健医療計画(評価対象予定)</p> <p>設備計画</p> <p>【人月合計】</p> <p>約7.80人月(国内:5.00人月、現地:2.80人月)</p> <p>【その他留意事項】</p> <p>現地派遣予定時期:2023年6月初~6月中旬、2023年8月</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(2023年3月22日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。新型コロナウイルス感染拡大の影響による渡航制限措置等により、履行期間や現地業務期間に変更が生じる場合があります。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

★	調達管理番号	22a00989000000	調達件名	南アジア地域クロスボーダー物流促進情報収集・確認調査【有償勘定技術支援】(QCBS)		
公示日(予定)		2023年4月5日	担当部課	南アジア部南アジア第一課	業務種別	業務実施契約ー【調査業務】基礎情報収集・確認調査
履行期間(予定)		2023年6月15日 ~ 2024年3月8日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】南アジア地域は、人口約19億人を抱え、経済規模4.43兆ドル、経済成長率8%と、堅調に経済成長を続ける地域であり、経済回廊整備事業を通じた地域内外の貿易回廊の強化を進めている。同地域のうち、世界第2位の人口を擁するインドでは、国内の運輸部門を支える重要な輸送手段として道路の整備を進めており、JICAではこれまでインド北東部地域における国道整備による回廊事業を実施してきた。これによりバングラデシュ等の周辺国との連結性向上に貢献する一方で、国境インフラの不備や制度面での対応の遅れによる物流の停滞化が見られる等、インド及び周辺国との円滑な物流網の構築するうえで依然として課題が存在する。</p> <p>【目的】本調査は、インド(特に北東部地域)とバングラデシュ、及び内陸国のブータン、ネパールの国境を越えたクロスボーダー物流に係る既存計画・制度のレビューや課題分析、国際回廊に関する基礎情報の収集・整理等を実施し、当該地域の物流改善にかかる支援方針案や個別の協力プログラム/新規案件の形成に向けた実施前提条件等の情報収集・分析を実施するもの。</p> <p>【活動内容】</p> <p>(1)既存計画・制度レビュー</p> <p>(2)対象回廊(特にインド北東部地域及びバングラデシュ間、またはコルカタ及びダッカ間)でのベースライン情報収集と将来需要予測</p> <p>(3)物流インフラ面の課題分析</p> <p>(4)税関面の課題分析</p> <p>(5)課題分析を踏まえた円借款を想定した支援方針案・個別の協力プログラム案/新規案件候補の提案等</p>			留 意 事 項	<p>【業務担当分野一覧・そのうちの評価対象者】</p> <p>(1)業務主任者、貿易・産業政策(評価対象予定)</p> <p>(2)道路交通・物流計画(評価対象予定)</p> <p>(3)税関・通関制度、通関システム(評価対象予定)</p> <p>(4)道路交通施設・国境施設</p> <p>(5)貨物流動分析</p> <p>(6)デジタル技術・DX推進</p> <p>【人月合計】約17人月(現地10人月、国内7人月)</p> <p>【関連報告書公開情報】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「南アジア地域におけるクロスボーダー交通インフラ整備・改善にかかる情報収集・確認調査」(2014年) ・「南アジア地域クロスボーダー協力(海運)情報収集・確認調査」報告書(2016年) <p>【その他留意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・渡航予定先:インド、バングラデシュ。再委託又は特殊傭人でのブータン、ネパール渡航も想定する。 ・プレ公示の内容は若干の変更可能性があります。 	

コンサルタント等契約(業務実施)(2023年3月22日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。新型コロナウイルス感染拡大の影響による渡航制限措置等により、履行期間や現地業務期間に変更が生じる場合があります。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

★	調達管理番号	23a00066000000	調達件名	エチオピア国観光振興アドバイザー業務		
公示日(予定)	2023年4月5日	担当部課	経済開発部民間セクター開発グループ	業務種別	業務実施契約ー【事業実施・支援業務】技術協力プロジェクト	
履行期間(予定)	2023年7月3日 ~ 2026年6月26日		選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】 豊かな自然と壮大な景観、9つの世界遺産に恵まれたエチオピアの見どころは多く、観光客数は年々増加していた。しかし、COVID-19の世界的感染はエチオピアを含む世界中の経済活動を停止に追い込み、とりわけ観光産業に甚大な影響を及ぼしている。観光産業をコロナ禍以前の状態に復興するのみならず、それ以上の振興を図るために、観光産業に係る産官学の緊密な協力を通じて、観光業における最新状況の確認と分析、地方における観光業への支援、観光地としてのブランドの促進等に取り組むことが重要である。</p> <p>【目的】 本事業では、活動当初にベースライン調査を実施し、その結果を参考にしながら他ドナーの活動とも連携しつつ、観光開発マスタープラン(仮称)改定に向けた提言を行い、並行して、重点市場(国)に対する観光プロモーションをCPと共に実施する。また、同結果を踏まえ、次期マスタープラン策定に向けた提言を行うことでエチオピア観光省の政策策定・事業実施能力が強化されることを目指す。</p> <p>【業務内容】 1: 既存の観光政策及びマスタープラン改訂に向けた支援が実施される。 2: エチオピアにおける重点市場(国)をターゲットとした効果的な観光プロモーションが実施される。</p>			留 意 事 項	<p>【業務分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務主任者/観光政策提言(評価対象予定) ・観光マーケティングプロモーション(評価対象予定) <p>【業務人月(想定)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・約20人月(現地約18人月、国内約2人月) 	

コンサルタント等契約(業務実施)(2023年3月22日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。新型コロナウイルス感染拡大の影響による渡航制限措置等により、履行期間や現地業務期間に変更が生じる場合があります。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

★	調達管理番号	23a00070000000	調達件名	中央アジア(キルギス、タジキスタン)電力セクターに関する情報収集・確認調査(QCBS)		
公示日(予定)		2023年4月5日	担当部課	東・中央アジア部中央アジア・コーカサス課	業務種別	業務実施契約ー【調査業務】基礎情報収集・確認調査
履行期間(予定)		2023年6月27日 ~ 2023年10月31日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】 現在、国際的に化石燃料からの脱却が強く求められている中、国際河川の上流に位置するキルギス及びタジキスタンでは、国内の発電量の大半を再生可能エネルギーである水力発電に頼っている。一方で、旧ソ連時代に整備された施設の老朽化や中央アジア各国をまたいで形成された送電系統は、電力の安定的供給に支障をきたしている。また、両国では、夏季には豊富な水量を発電に利用し、余剰電力を周辺国に輸出することを目指しているが、冬季には河川水の凍結により電力不足に陥り、大きなビジネス阻害要因となっている。そこで、両国内での発電及び送変電系統の効率的な設備形成と運用改善を通じ、年間を通じた安定供給を実現することが求められている。</p> <p>【目的】 本調査は、今後の対キルギス及びタジキスタンの電力セクターの援助方針及び協力プログラムの策定に役立てるため、両国における電力セクターの現状・課題を整理するとともに、緊急性の高い課題に対する協力プログラム形成の可能性を探ることを目的とする。</p> <p>【活動内容】 (1) 両国における現在の電力セクター(政策、開発計画、関係機関等)に係る現状・課題の整理 (2) 発電施設及び送変電施設の老朽化の現状と改善の可能性の検討 (3) 送電系統の安定化に係る能力強化ニーズの確認 (4) 緊急性の高い課題に対する協力プログラム形成の可能性の検討</p>			留 意 事 項	<p>【担当業務分野/評価対象者】 1. 業務主任/電力開発計画(評価対象) 2. 電力設備計画(評価対象) 3. 系統計画/系統運用 4. 電力施設建設/自然条件 5. 電気事業経営 6. 人材育成 7. 調達事情 8. 環境社会配慮</p> <p>【人月合計】約11人月(現地:9人月、国内2人月) 【現地派遣期間】約9人月 【渡航見込み時期】5月下旬 * 本業務に係る契約には、調査業務用契約約款を適用し、消費税課税取引とすることを想定(企画競争説明書に最終的な取扱いを記載)。</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(2023年3月22日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。新型コロナウイルス感染拡大の影響による渡航制限措置等により、履行期間や現地業務期間に変更が生じる場合があります。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

	調達管理番号	23a00048000000	調達件名	コロンビア国対人地雷包括的行動(AICMA) 推進のための人材育成プロジェクト		
	公示日(予定)	2023年4月12日	担当部課	ガバナンス・平和構築部平和構築室	業務種別	業務実施契約ー【事業実施・支援業務】技術協力プロジェクト
	履行期間(予定)	2023年7月3日 ~ 2026年11月30日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】 JICAは、2010年にコロンビアに対する地雷対策分野の技術協力を開始し、カンボジア地雷対策センター(CMAC)での3回の研修により、「対人地雷総合アクション大統領プログラム(PAICMA)」に携わる職員の人材育成が行われた。その後、2017年から実施された第三国研修「地雷対策」では、CMACとの全7回の研修により、人道的地雷除去ユニット、政府実務担当者や地雷汚染地域を有する自治体の首長に対してトレーニングが行われた。コロンビア政府は、国際社会による貢献の中でも、以前から協力関係にあるJICAを通じた日本政府の南南協力を高く評価しており、日本政府に更なる支援を要請した。南南協力を発展させた次のフェーズともいえる本プロジェクトでは、効果的・効率的な地雷汚染地の解放に着目し、コロンビアにおける効果的・効率的な地雷汚染地の解放を図る。</p> <p>【目的】 ボゴタおよびコロンビア内の地雷汚染地域において、地雷除去活動のための基準・規則の改善や地雷対策ツールの開発、地雷除去員の能力向上を行うことにより、コロンビアにおける効果的・効率的な地雷汚染地の解放の進展を図り、地雷対策活動を通じたコロンビアの市民の安全の強化に寄与するもの。</p> <p>【活動内容】 1. プロジェクト期間 2023年7月~2026年9月 2. 上位目標：地雷対策活動を通じてコロンビアの市民の安全が強化される。 3. プロジェクト目標：コロンビアにおける効果的・効率的な地雷汚染地の解放が進展する。</p> <p>4. 成果：①地雷除去活動に関するSOP(手順書)が改善され、コロンビアの技術規範(technical norms)に係る助言がなされる。②効果的・効率的な地雷除去プロセスを実現するための地雷対策ツールおよび研修活動が改善される。③政府機関に属する地雷除去部隊長・調査員・除去員・内部クオリティコントロール職員、コミュニティリエゾン担当職員が地雷対策ツールを適切に活用するための能力が向上する。</p>			留 意 事 項	<p>【業務担当分野一覧・そのうちの評価対象者】 ・業務主任者/組織能力強化(評価対象予定) ・システム開発(評価対象予定) ・研修計画</p> <p>【人月合計】 約21.3人月(現地16人月、国内5.3人月)</p> <p>【その他留意事項】 ・2022年12月に詳細計画策定調査を実施済。 ・2023年2月にR/D署名済。 ・プレ公示の内容は若干の変更の可能性があります。</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(2023年3月22日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。新型コロナウイルス感染拡大の影響による渡航制限措置等により、履行期間や現地業務期間に変更が生じる場合があります。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

	調達管理番号	23a00087000000	調達件名	ガーナ国クマシ交差点改良に係る情報収集・確認調査(QCBS)		
	公示日(予定)	2023年4月12日	担当部課	アフリカ部アフリカ第二課	業務種別	業務実施契約ー【調査業務】基礎情報収集・確認調査
	履行期間(予定)	2023年6月30日 ~ 2024年2月29日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】ガーナの第2の都市クマシは、国内の主要幹線道路が交差し、かつ西アフリカ成長リングのアクラワガドゥグ国際回廊上に位置する。ガーナ及び周辺国の経済成長および人口増加に伴う物流量増加により、クマシ市内の渋滞が深刻化している事態を改善し、今後さらに増える交通量への対応に必要な交通インフラを特定するための調査を実施する。</p> <p>【目的】本調査は、クマシ市の運輸・物流セクターの開発計画、および、アクラワガドゥグ回廊および周辺の代替回廊の開発計画、また、クマシ市を通過する交通量の分析を通じ、必要な交通インフラ強化のための優先プロジェクトを整理する。</p> <p>また、他の西アフリカ成長リング諸国においても同様の人口増加、交通問題が見られることから、他都市にも流用可能な本邦技術や迅速設計・工法に留意して調査、提案を行うこととする。</p> <p>【活動内容】 主要な国内・国際幹線道路からの交通流入も含めたクマシ市内の交通の種類、ボリュームを把握するとともに、将来的な交通量需要の予測を行う。また、クマシ市内の渋滞ボトルネックの分析においては、主要交差点(2-3か所)の交通量調査を行い、対応の優先度を整理するとともに、必要な設計に係る提言を行う。</p> <p>(1)社会経済指標、開発政策に係る情報収集(2)自然環境・社会環境調査(3)交通・交差点開発の現状把握(含む交通量調査等)(4)調達事情、建設資機材及び労務費用調査(5)クマシ市内および都市間交通の課題と優先整備交差点の抽出とODA事業としての具体的な検討・提案(6)事業効果の推計(7)西アフリカ諸国において活用可能な本邦技術・迅速施工・工法の確認、検討</p>			留 意 事 項	<p>【業務担当分野一覧/そのうちの評価対象者:○】</p> <p>(1) 業務主任者/道路計画○ (2) 道路構造物設計○ (3) 交通需要予測/経済評価 (4) 自然条件調査 (5) 交差点設計 (6) 施工計画/積算 (7) 環境社会配慮</p> <p>【人月合計】約14.8人月(現地7.7人月、国内7.1人月)</p> <p>【関連報告書公開情報】クマシ都市圏総合開発計画プロジェクト報告書</p> <p>【その他留意事項】プレ公示の内容は若干の変更の可能性があります。また、本調査の結果に基づき、JICAが協力準備調査を行う場合には、協力準備調査の業務を追加することもあります。</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(2023年3月22日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。新型コロナウイルス感染拡大の影響による渡航制限措置等により、履行期間や現地業務期間に変更が生じる場合があります。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

	調達管理番号	23a00072000000	調達件名	全世界(広域)全世界ジェンダー平等推進と女性のエンパワメントのための介入手法に係る情報収集・確認調査(保健・教育分野)(QCBS)		
	公示日(予定)	2023年4月12日	担当部課	ガバナンス・平和構築部ジェンダー平等・貧困削減推進室	業務種別	業務実施契約ー【調査業務】基礎情報収集・確認調査
	履行期間(予定)	2023年6月30日	～	2025年3月14日	選定方法	企画競争
業 務 内 容	<p>【背景・目的】 本調査では保健医療、教育分野においてより効果的なジェンダー視点に立った取り組み手法について、アフリカ地域を対象に調査・検討・提案を行うものである。保健医療及び教育分野においては、様々なジェンダー課題や取り組みの必要性が認識されており、これら課題への対応が求められている。本調査は保健医療分野(①非感染性疾患対策、②性と生殖の健康と権利(SRHR)、③ジェンダーに基づく暴力(GBV)の3領域)及び教育分野、並びに紛争影響国や脆弱国で実施され、通常の事業とは異なる観点での分析や取り組みが必要となる平和構築の分野について、効果的なジェンダーの取り組みの情報収集と検討・実施・検証を通してジェンダー主流化を推進するための具体的な方策と支援策を提言することを目的として実施する。</p> <p>【活動内容】 (1)デスクレビューによる情報収集 他開発機関のジェンダー平等の推進に係る取組状況の取りまとめ、好事例や教訓の抽出、JICA事業との比較等を行い、対象分野のジェンダー主流化のための手法を提案する。 (2)パイロット活動の実施 デスクレビューフェーズを経て介入手法を検討した上で、パイロット活動の実施による検討・検証が必要とされる手法については、対象国を選定し関連するジェンダー課題の分析、それに対応するパイロット活動計画の検討・実施を行った上で、結果のとりまとめを行う。 (3)ジェンダー主流化の具体的手法の提案 パイロット活動を実施しない分野については、デスクレビューによる情報収集で取りまとめた介入手法について、具体的手法として提案する。また、パイロット活動を実施する分野については活動を通して得られた知見・経験を踏まえて提案を行う。いずれの場合においても、JICAのスキームを特定の上、事業で活用可能なように具体的な手法を提案する。</p>				留 意 事 項	<p>【業務担当分野】 業務主任者/ジェンダー主流化(3号、評価対象予定) NCDs(3号、評価対象予定) 教育開発(3号、評価対象予定) リプロダクティブ・ヘルス 平和構築 栄養 ジェンダーに基づく暴力の撤廃</p> <p>【人月合計】19.63人月(現地:6.13人月、国内:13.50人月) 【想定渡航回数】16回(2分野×4回渡航×2名)</p> <p>●留意事項 ・各パイロット活動は本契約に含むローカルNGO/コンサルタントへの再委託を通じて、1年程度での実施を想定しており、実施時期や実施場所は協議の上確定。</p>

コンサルタント等契約(業務実施)(2023年3月22日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。新型コロナウイルス感染拡大の影響による渡航制限措置等により、履行期間や現地業務期間に変更が生じる場合があります。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

	調達管理番号	23a00078000000	調達件名	ヨルダン国産業振興・貿易促進アドバイザー業務		
	公示日(予定)	2023年4月19日	担当部課	経済開発部民間セクター開発グループ	業務種別	業務実施契約ー【事業実施・支援業務】技術協力個別案件
	履行期間(予定)	2023年6月16日 ~ 2026年1月30日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】 ヨルダンアジア、アフリカ、ヨーロッパを繋ぐ要衝に位置し、中東地域の中で安定した国家運営を続けているが、地域の不安定化の影響を受けて、2010年以降経済が低迷しており、2020年には新型コロナウイルスの感染拡大により成長率はマイナスに落ち込んだ。2021年以降の成長率は回復基調にあるが、失業率は依然高水準に留まっている。かかる状況下、ヨルダン政府は2021年に「政府優先プログラム(2021-2023)」を発表し、(1)雇用創出、(2)投資誘致、(3)輸出促進をゴールとして設定して、産業競争力強化、規制緩和、手続き効率化等に取り組んでおり、観光、IT、農業、国産品輸出の4つの優先分野を制定して、各分野の産業育成を進めている。2022年には「経済近代化ビジョン」を発表して8つの柱と366のイニチアチブを設定し、経済成長を最大化させる方針である。これらの政策の中で産業育成、投資促進、観光振興はヨルダン政府の優先課題に含まれている。</p> <p>【目的】 本業務は成長可能性ある産業の育成、特に海外市場への輸出拡大や海外からのインバウンド観光の拡大を目指し、パイロット事業の実施を通じて、人材育成と友好的アプローチの抽出を行い、今後の産業育成に活用することを目的とする。 なお、本業務では、成長可能性ある産業として死海製品(スキンケア商品)及びウェルネス観光を対象に、パイロット事業を実施する。</p> <p>【業務内容】 (1) 成長可能性ある産業の開発戦略の策定及び本業務実施体制の構築 (2) 死海製品及びウェルネス観光のパイロット事業計画立案 (3) パイロット事業実施体制構築 (4) パイロット事業実施 (5) パイロット事業の評価及び有効なアプローチの抽出 (6) 産業育成アクションプランの作成 (7) 上記(1)から(6)を実施する過程での人材育成</p>			留 意 事 項	<p>【業務担当分野】 ①業務主任者/戦略的産業育成(評価対象者予定) ②輸出振興(死海スキンケア商品)(評価対象予定) ③ウェルネス観光(インバウンド促進)(評価対象予定)</p> <p>【業務人月(想定)】 ・約27人月(現地約24人月、国内約3人月)</p> <p>【公開されている関連する報告書】 ・ヨルダン国 貿易振興・投資促進にかかる情報収集・確認調査ファイナル・レポート https://openjicareport.jica.go.jp/298/298/298_307_12371464126306.html ・(公開準備中)ヨルダン国 ウェルネスクラスター形成・振興の戦略策定にかかる情報収集・確認調査ファイナル・レポート</p> <p>【現地業務期間(想定)】 ・2023年6月~2025年12月(30か月)</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(2023年3月22日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。新型コロナウイルス感染拡大の影響による渡航制限措置等により、履行期間や現地業務期間に変更が生じる場合があります。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

	調達管理番号	22a00843000000	調達件名	アンゴラ国プライマリヘルスケア施設における妊産婦ケアの質改善プロジェクト		
	公示日(予定)	2023年5月10日	担当部課	人間開発部保健第一グループ	業務種別	業務実施契約ー【事業実施・支援業務】技術協力プロジェクト
	履行期間(予定)	2023年7月17日	～	2027年5月31日	選定方法	企画競争
業 務 内 容	<p>【背景】 アンゴラ国において、保健医療施設で提供されるサービスの質向上と利用者満足度の向上、コミュニティ啓発活動を通じた行動変容が喫緊の課題となっている。</p> <p>【目的】 本事業は、ウィラ州、ウアンボ州において、対象施設における妊産婦に寄り添ったケアの強化、保健サービスマネジメント及び施設運営整備に関する能力の強化、妊産婦の継続ケア促進のためのコミュニティ活動の強化、対象州及び中央政府へのプロジェクトの経験と教訓の共有及び国家政策への反映を行うことにより、対象市における出産と新生児ケアを中心とする母子保健サービスの質の改善を図り、もって対象州の施設分娩率の向上に寄与するものである。</p> <p>【業務概要(成果)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 対象保健医療施設において、妊産婦に寄り添ったケアが強化される。 対象保健医療施設の保健サービスマネジメント及び施設運営整備に関する能力が強化される。 妊産婦の継続ケア促進のためのコミュニティ活動が強化される。 プロジェクトの経験と教訓が対象州及び中央政府で共有され、国家政策に反映される。 				留 意 事 項	<p>【業務担当分野一覧・そのうちの評価対象者】 業務主任者・母子保健(評価対象者) 質管理(評価対象者) 地域保健・研修管理</p> <p>【人月合計】 約48人月(現地45人月、国内3人月)</p> <p>【その他留意事項】 2022年3月に RD 署名予定(ただし、遅延の可能性あり)。アンゴラのルアンダでの宿泊料については、格付の号を問わず、一律一泊37000円の定額計上の予定です。</p>

コンサルタント等契約(業務実施)(2023年3月22日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。新型コロナウイルス感染拡大の影響による渡航制限措置等により、履行期間や現地業務期間に変更が生じる場合があります。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

★	調達管理番号	22a00911000000	調達件名	マレーシア国強化された透明性枠組み下での国連気候変動枠組条約 (UNFCCC) 国家報告書作成のための能力強化プロジェクト		
公示日 (予定)	2023年5月24日	担当部課	地球環境部環境管理グループ	業務種別	業務実施契約ー【事業実施・支援業務】技術協力プロジェクト	
履行期間 (予定)	2023年7月19日	～	2026年9月18日	選定方法	企画競争	
業 務 内 容	<p>【背景】 マレーシア天然資源環境気候変動省は、UNFCCCの国家フォーカルポイントであり、NDCおよびGHGインベントリの取りまとめを所掌している。また、国が決定する貢献 (NDC) の実施においては同省が所掌する廃棄物分野の実施、GHGインベントリも廃棄物分野のデータ収集・算定を担当している。マレーシアは、2000年、2011年、2018年に国別報告書、2016年、2018年、2020年に隔年更新報告書 (BUR) をUNFCCC事務局へ提出しており、パリ協定のもとの透明性枠組みの報告要件への対応の準備として、同省は気候変動部門の機能を強化するためGHGインベントリの担当ユニットを国家GHGセンターに改編し、GHGインベントリに係るデータ収集、品質管理・保証、データ管理・分析等のプロセスの改善を目指している。マレーシアがパリ協定下の透明性枠組みの報告義務に対応するためには、透明性枠組み下での隔年透明性報告書の作成能力強化、GHGインベントリの定期的な算定を行うための国内体制の整備や制度的・法的取り決めの整備、Fガスの算定能力強化が必要である。</p> <p>【目的】 本事業は、マレーシアにおいて、隔年透明性報告書の作成能力強化、GHGインベントリの定期的な算定を行うための国内体制・取り決めの整備、フロン類の算定能力強化を行うことにより、環境水省における透明性枠組みに対応するためのマレーシアの国家ナショナルフォーカルポイントとしての技術的・組織的能力の強化を図り、もって気候変動に係る取り組みの促進に寄与するもの。</p> <p>【業務内容】 ・ 隔年透明性報告書作成を含む透明性枠組みへの対応能力の強化 ・ フッ素系温室効果ガス (Fガス) 排出の算定の改善</p>			留 意 事 項	<p>【担当分野／評価対象者】 ・ 業務主任者／GHGインベントリ／透明性 (評価対象) ・ Fガス算定 (評価対象) ・ Fガス算定／連携強化</p> <p>【業務人月 (想定)】 約20人月 (現地：14人月、国内：6人月)</p> <p>【その他】 ・ 2023年5月にR/D署名予定。 ・ 本件契約には事業実施・支援業務用の契約約款を適用します。契約で規定される業務が国外で提供される契約は国外取引として整理し、消費税不課税取引とすることを想定しています (企画競争説明書に最終的な取扱いを記載します)。</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(2023年3月22日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。新型コロナウイルス感染拡大の影響による渡航制限措置等により、履行期間や現地業務期間に変更が生じる場合があります。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

	調達管理番号	23a00080000000	調達件名	フィリピン国下水道整備のための包括的マスタープラン策定プロジェクト		
	公示日(予定)	2023年6月7日	担当部課	地球環境部環境管理グループ	業務種別	業務実施契約ー【事業実施・支援業務】開発計画調査型技術協力(技術協力プロジェクト)
	履行期間(予定)	2023年8月24日 ~ 2026年8月21日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】 フィリピンでは、公共事業道路省(Department of Public Works and Highways)が国家下水道・腐敗槽汚泥管理計画(National Sewerage and Septage Management Program)を策定し、地方自治体等による下水・腐敗槽汚泥処理を推進している。他方、フィリピン第2の都市圏であるメトロセブにおいては、下水道は整備されておらず、地方自治体による下水・腐敗槽汚泥処理は適切に行われていない状況であり、水環境の水質汚濁や水系感染症が確認されている。かかる背景の下、メトロセブの都市開発計画として承認されているメガセブ・ロードマップ2050において中長期的な目標としている下水道整備を実施するための支援が要請された。</p> <p>【目的】 本プロジェクトに係るRDに基づき、以下に挙げる期待される成果を発現するための活動(業務)を実施し、公衆衛生環境の及び水質汚濁の改善に寄与する。 1.メトロセブにおける包括的マスタープランを策定するにあたり必要な基礎情報が整理される。 2.メトロセブにおける汚水の集中型及び分散型処理並びに腐敗槽汚泥処理を含めた包括的マスタープランが策定される。 3.包括的マスタープランで選定された優先プロジェクトの資金調達手法が提示される。 4.包括的マスタープランで選定された優先プロジェクトのPre-FSが実施される。 5.メトロセブ水道区の汚水管理に係る計画策定能力が強化される。</p> <p>【対象地域】 メトロセブ水道区が事業を実施している区域に含まれる8地方自治体</p>			留 意 事 項	<p>【業務担当分野、評価対象者】 1.業務主任者／総合的汚水処理計画(評価対象) 2.下水道計画／管きよ計画(評価対象) 3.腐敗槽汚泥収集計画 4.汚水処理施設計画／腐敗槽汚泥処理施設計画／汚泥資源利活用計画(評価対象) 5.施設設計 6.運営・維持管理計画 7.施工・調達計画／積算 8.組織運営・制度 9.経済・財務分析 10.自然状況調査 11.環境社会配慮／住民啓発</p> <p>【人月合計】 約62人月(現地49.5人月、国内12.5人月)</p> <p>【その他留意事項】 ・2023年5月下旬にRD署名予定。但し、遅延の可能性有。</p>	